

5年国語

固有種が教えてくれること・グラフや表を用いて書こう
～目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書く～

1. 本時の学習目標

資料と文章を対応させて書こう。また、資料から分かることと、自分が考えたことを分けて書こう。

2. 指導の流れ（第10時／全11時）

教師の動き	予想される反応・指導のポイントなど
<p>1. 前時に学習した内容を思い出し、本時の書く活動につなげさせる。 ※前時に作った構成の書かれた紙を配布する。</p> <p>2. 指示「自分が選んだグラフや表について、例の文章の構成に合わせて、友達に話をしてみましょう。」</p> <p>3. 指示「話したこと、聞いたことを参考にして、文章を書きましょう。」</p> <p>4. 指示「書いた文章をルーブリックに照らし合わせて、推敲しましょう。」</p>	<p>予想される反応・指導のポイントなど</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書の例文の文章の構成 ①結論とその理由②グラフや表が示すこと③グラフや表の具体的な数字の比較とその数字が表すもの④結論と未来への展望・書く前段階としてのペアトークを取り入れる。・活動方法として、二つの区分に分ける。 ①先生といっしょに書くグループ（主に、算数的な読み取りや文章を書くことに困難を抱える児童）②一人で取り組むグループ。・各自ルーブリックに振り返りをさせる。

3. ルーブリック評価

	①1段落。結論と理由について書いているか。	②2段落。グラフや表を読み取り、文章に書いているか。(資料からわかること)	③2段落。自分の考えを書いているか。(自分が考えたこと)	④3段落。結論と未来の展望について書いているか。	⑤最後まで根気よく取り組むことができたか。
A	グラフや表を読み取った上で結論を述べ、また、身近な例を取り上げ理由を書いている。	①グラフや表が何を表しているかを読み取り、②具体的な数字を例にあげ、文章で説明をしている。	グラフや表から読み取ったことをもとに、身近なことに目をむけ、自分の考えを書いている。	グラフや表から読み取ったことをもとに、結論を述べ、未来の展望について書いている。	見通しをもち、最後まで根気強く取り組むことができている。
B	自分なりの結論や理由を述べている。	上記①か②が十分ではない。	グラフや表から読み取ったことをもとに、自分の考えを書いている。	結論だけになっており、未来の展望が不十分である。	仕上がるまで取り組むことができている。
今日の学習のふりかえり					

4. 児童の成果物

<p>私は、日本の社会は、そんなをしている人が多いと思います。なぜなら、朝食を食べたほうがテストの点数が増えるのに、朝食を食べていない人が多いからです。</p> <p>上のグラフは、「朝食の摂取と学力調査の平均正答率の関係」を示したものです。ぼうグラフは、学力調査の平均正答率を表していて、グラフの色ごとに朝食をたべているかどうかを表しています。これを見ると、朝食を食べている人のほうが、テストの点数が高いことがわかります。では、朝食を食べている人と全く食べていない人を比べてみましょう。小学生の国語Aの場合、朝食を食べている人は、67.2%で、朝食を全く食べていない人は46.6%で、20.6%もの差があります。朝食を食べているほうが、テストな</p>

どで、より多くの点数をとることができるといえるでしょう。

このように、グラフをもとにして、朝食を食べていない人より朝食を食べるほうがテストの点数で 20.6%も高いことを述べました。朝食を食べるほうが健康にもよいので、みなさんにも朝食をたくさん食べてほしいと思います。

5. 児童のふりかえりや達成状況

達成状況としては、児童の意識の中では B よりやや上の A に達成感がある傾向があった。しかし、実際に評価をすると、以下の点に課題が挙げられた。

- ①具体的な数字をあげずにざっくりとした文章を書いている。
- ②「資料からわかること」と「自分が考えたこと」が混同している。
- ③表やグラフからざっくりとしたことは読み取れているが、身近なことに結び付けて考えたり、言葉に表現する力が弱い。

以上の結果から踏まえ、文章の構成を読み取る際に、各文章の中身にも言及した形で丁寧に読み取りを行う必要があったと考える。

6. 授業者のふりかえり

- ◎構成を読み取ったあとに、構成のひな型を用意したことで、多くの児童の意欲的に取り組む姿が見られた。
- ◎書く段階で、グループ分けをしたことで、書くことに課題を抱える児童も、その時間内に仕上げ、達成感をもつことができた。
- ◎文章を書くためにグラフや表を見ましようという展開ではなく、「面白い表やグラフがあるんだけど、みんなで見てみよう」とたっぷり1時間とったことで、いろいろな表やグラフを興味深そうに児童同士でわいわいとやり取りをしている姿が見られた。これにより、「書く」敷居が低くなったように考える。

7. 前時につくった構成の用紙

五年 グラフや表を用いて書こう	名前
(1) 私は、日本の社会は、 なせなら、(理由1))と想います。) からです。
※理由2)) (を示したものの) は)) (を) (をあらわしています。) (
(2) 上のグラフは、) (は)) (を) (をあらわしています。) () (は)) (をあらわしています。) (
(3) (3)比較 ※★具体的に比較 (比較した結果から読み取れること)) (を比べてみましょう。
(4) (このように、 ※) (を) ※★★を大きく見ただけに言えること) () (を) ※★★を大きく見ただけに言えること) (
) (を述べました。(まとめ)) (